



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社
 コード番号 3945 URL <http://www.superbag.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福田晴明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 吉田精一

TEL 04-2938-1244

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,112	15.1	47		44		223	
2020年3月期第2四半期	15,441	1.4	14		2		12	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 97百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 93百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第2四半期	145.98	
2020年3月期第2四半期	8.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,670	3,067	19.8
2020年3月期	16,288	3,256	19.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,903百万円 2020年3月期 3,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期				60.00	60.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点での2021年3月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症及びレジ袋有料化の影響を現時点で合理的に算定することが困難であると判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	1,686,154 株	2020年3月期	1,686,154 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	157,669 株	2020年3月期	157,578 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	1,528,535 株	2020年3月期2Q	1,528,941 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の解除後、段階的な経済活動の再開に伴い、景気は持ち直し傾向がみられておりますが、収束目処の不確実性、米中貿易摩擦の長期化など、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、新型コロナウイルス感染拡大を受けて発出された緊急事態宣言下で個人消費は急激に減少し、宣言解除後も、各自治体からの外出自粛要請やテレワークの導入促進に伴い、消費傾向が「外出型消費」から「オンライン消費」へシフトしたことにより、主要顧客である小売店の包装資材需要は冷え込み、非常に厳しい状況で推移いたしました。

また、プラスチック資源循環戦略（2019年5月31日決定）の取り組みの一環として、2020年7月1日より全国一律でプラスチック製レジ袋の有料化が開始され、多くの小売店舗では法令対象外となる環境配慮型素材を使用したレジ袋へ切り替えつつ有料提供することで、プラスチックごみによる海洋環境汚染問題へ貢献する取り組みが定着いたしました。廃プラスチック問題・環境問題に対して消費者がライフスタイルを見直す契機になった一方で、当社主力製品であるレジ袋の消費量は減少し、化成品事業に多大なインパクトをもたらしました。

このような環境のもと、当社グループは『市場の多様なニーズと変化への挑戦』を主軸とし、営業部門においては「売上確保・拡大」「採算性の向上」、調達部門においては「調達原価の低減及び収益の取れる調達先の開拓」、生産部門においては「効率化」、また企業活動全体で『ITの強化とDX（デジタル・トランスフォーメーション）化』を推進し、引き続き需要の開拓と徹底したコスト削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,112百万円（前年同四半期比15.1%減）、営業損失47百万円（前年同四半期は営業損失14百万円）、経常損失44百万円（前年同四半期は経常損失2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失223百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、9ページ「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用346百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、主力の手提袋、平袋及び紙器の販売数量・金額減少などにより、売上高は前年同期に比べ1,652百万円減少して4,452百万円となりました。セグメント損益（営業損益）は生産利益や仕入品の粗利益額が減少し、経費削減により販売管理費が減少したものの、前年同期に比べ271百万円減少して167百万円の損失となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、新型コロナウイルス感染症及びレジ袋有料化の影響により、主力のレジ袋、ポリ手提袋、平ポリ袋及びおむつ用製品の販売数量・金額減少などにより、売上高は前年同期に比べ414百万円減少して5,620百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料価格低下等により粗利益額が増加し、加えて販売管理費が減少したことから、前年同期に比べ171百万円増加して392百万円となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高は前年同期に比べ262百万円減少して3,039百万円となりました。品目ごとの販売構成では、清掃用品が増加する一方で、包装用品、事務用品、販売用品及びSVS商品が減少しております。セグメント利益（営業利益）は粗利益額が微増し、加えて販売管理費が減少したことから、前年同期に比べ45百万円増加して72百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,617百万円減少して14,670百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が537百万円減少、受取手形及び売掛金が802百万円減少、電子記録債権が246百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,596百万円減少の9,338百万円となりました。固定資産は、設備投資等により100百万円増加、投資有価証券の時価評価差額が60百万円増加した一方、有形固定資産の減価償却費で146百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ21百万円減少の5,331百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,428百万円減少して11,603百万円となりました。これは、短期借入金及び長期借入金が750百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が947百万円減少、電子記録債務及び設備関係電子記録債務が775百万円減少、未払法人税等が67百万円減少、未払消費税等が195百万円減少、賞与引当金が111百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ188百万円減少して3,067百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が127百万円増加した一方、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失計上により223百万円減少、剰余金の配当で91百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の19.0%から19.8%になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,236百万円となり、前連結会計年度末に比べ198百万円増加しております。その内訳は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、1,027百万円（前年同四半期は265百万円の増加）となりました。

これは、減価償却費154百万円、売上債権の減少1,049百万円等資金が増加したものの、税金等調整前四半期純損失252百万円、仕入債務の減少1,692百万円、未払消費税等の減少195百万円等資金が減少したことなどによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、103百万円（前年同四半期は75百万円の減少）となりました。

これは、投資有価証券及び固定資産の取得による支出106百万円等資金が減少したことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、606百万円（前年同四半期は155百万円の増加）となりました。

これは、リース債務の返済による支出57百万円、配当金の支払額89百万円等資金が減少したものの、借入金が純額で753百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せないなか、実店舗の包装資材需要の減少などにより、厳しい状況が継続するものと予想されます。

このような経営環境のもと、当社グループは新型コロナウイルス感染拡大やプラスチック製レジ袋有料化による消費動向の変化も踏まえ、新しい需要の開拓と新素材製品開発、全社的なコスト見直しを推進し、収益の回復に努めてまいります。

通期の連結業績予想及び配当予想につきましては、現時点では合理的に算定することが困難であることから、未定としております。今後、予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,815	1,277
受取手形及び売掛金	4,700	3,898
電子記録債権	1,065	818
商品及び製品	2,397	2,277
仕掛品	329	284
原材料及び貯蔵品	473	542
その他	155	242
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	10,934	9,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,119	6,116
減価償却累計額	△5,132	△5,149
建物及び構築物(純額)	986	967
機械装置及び運搬具	10,100	9,786
減価償却累計額	△9,150	△8,922
機械装置及び運搬具(純額)	950	863
土地	826	826
リース資産	515	546
減価償却累計額	△253	△275
リース資産(純額)	261	270
建設仮勘定	6	15
その他	783	784
減価償却累計額	△713	△713
その他(純額)	70	70
有形固定資産合計	3,102	3,014
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	8	7
その他	74	69
無形固定資産合計	98	92
投資その他の資産		
投資有価証券	1,095	1,140
破産更生債権等	0	0
事業保険金	82	83
差入保証金	204	204
退職給付に係る資産	340	338
繰延税金資産	425	454
その他	4	4
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,152	2,224
固定資産合計	5,353	5,331
資産合計	16,288	14,670

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,699	2,752
電子記録債務	2,561	1,815
短期借入金	1,668	1,868
リース債務	204	190
未払金	479	437
未払法人税等	116	48
未払消費税等	221	25
賞与引当金	246	135
設備関係支払手形	12	23
設備関係電子記録債務	39	10
設備関係未払金	9	6
その他	156	133
流動負債合計	9,417	7,448
固定負債		
長期借入金	2,387	2,938
リース債務	408	399
役員退職慰労引当金	126	116
退職給付に係る負債	691	699
固定負債合計	3,614	4,154
負債合計	13,032	11,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,457	1,457
利益剰余金	743	428
自己株式	△263	△263
株主資本合計	3,312	2,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△98	28
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△9	△31
退職給付に係る調整累計額	△105	△91
その他の包括利益累計額合計	△210	△93
非支配株主持分	154	163
純資産合計	3,256	3,067
負債純資産合計	16,288	14,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	15,441	13,112
売上原価	12,736	10,638
売上総利益	2,705	2,474
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,383	1,272
給料及び手当	795	773
賞与引当金繰入額	112	61
退職給付費用	35	38
賃借料	88	88
旅費及び交通費	55	38
その他の経費	249	248
販売費及び一般管理費合計	2,720	2,521
営業損失(△)	△14	△47
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	23	24
貸倒引当金戻入額	—	0
持分法による投資利益	18	20
為替差益	1	—
受取賃貸料	14	7
作業くず売却益	4	0
その他	9	8
営業外収益合計	71	61
営業外費用		
支払利息	46	46
為替差損	—	4
賃貸費用	5	3
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	7	4
営業外費用合計	58	58
経常損失(△)	△2	△44
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
環境対策引当金戻入額	0	—
助成金収入	—	78
特別利益合計	0	84
特別損失		
固定資産除却損	0	6
投資有価証券評価損	1	120
感染症関連損失	—	165
特別損失合計	2	292
税金等調整前四半期純損失(△)	△4	△252
法人税、住民税及び事業税	33	39
法人税等調整額	△32	△80
法人税等合計	0	△41
四半期純損失(△)	△4	△211
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	11
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	△223

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△4	△211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	127
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	△25	△19
退職給付に係る調整額	8	13
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△6
その他の包括利益合計	△88	114
四半期包括利益	△93	△97
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97	△106
非支配株主に係る四半期包括利益	4	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△4	△252
減価償却費	203	154
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	△122
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△4	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19	△29
未払債務の増減額(△は減少)	△26	△47
未収入金の増減額(△は増加)	14	△6
差入保証金の増減額(△は増加)	15	0
受取利息及び受取配当金	△23	△24
支払利息	46	46
為替差損益(△は益)	△2	2
持分法による投資損益(△は益)	△18	△20
投資有価証券評価損益(△は益)	1	120
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△6
固定資産除却損	0	6
助成金収入	—	△78
感染症関連損失	—	165
売上債権の増減額(△は増加)	745	1,049
たな卸資産の増減額(△は増加)	179	96
仕入債務の増減額(△は減少)	△899	△1,692
未払消費税等の増減額(△は減少)	78	△195
その他	3	△155
小計	290	△990
利息及び配当金の受取額	57	54
利息の支払額	△52	△48
助成金の受取額	—	53
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△30	△96
営業活動によるキャッシュ・フロー	265	△1,027
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
投資有価証券の売却による収入	—	8
固定資産の取得による支出	△63	△97
固定資産の除却による支出	△0	△2
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	0	0
差入保証金の回収による収入	—	0
その他	△3	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△990	90
長期借入れによる収入	1,870	1,300
長期借入金の返済による支出	△580	△637
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△53	△57
配当金の支払額	△89	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	155	606
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	322	△541
現金及び現金同等物の期首残高	714	1,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,037	1,236

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,104	6,035	3,301	15,441	—	15,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,104	6,035	3,301	15,441	—	15,441
セグメント利益又は損失(△)	104	221	27	353	△368	△14

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△368百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,452	5,620	3,039	13,112	—	13,112
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,452	5,620	3,039	13,112	—	13,112
セグメント利益又は損失(△)	△167	392	72	298	△346	△47

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△346百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。